

製品名: SP17 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86953**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:17 kDa; Observed MW:17 kDa

抗原情報

遺伝子名	SP17
別名	CT22; SP17; SP17-1
遺伝子 ID	53340
SwissProt ID	Q15506
免疫原	ヒト SP17 の合成ペプチド

背景

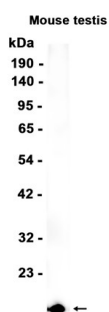
この遺伝子は細胞表面に存在するタンパク質をコードしています。N末端はヒト cAMP 依存性プロテインキナーゼ A (PKA) II 型 α

調節サブユニット (RIIa) と配列相同性を示し、C末端はIQカルモジュリン結合モチーフを有しています。タンパク質の中央部には糖結合モチーフがあり、細胞間接着に関与していると考えられます。このタンパク質は当初、精子が卵母細胞透明帯に結合することで特徴付けられていました。最近の研究では、免疫細胞の移動や転移といった細胞間接着機能にも関与していることが示唆されています。染色体10q22には、レトロトランスポジションした偽遺伝子が存在します。[RefSeq提供、2009年1月]

研究分野

-

画像データ



SP17 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス精巣組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。